



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年3月12日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## 娘を捜し続ける両親の12年

12日(日) = 1、3面

迫る



2011年3月11日に発生した東日本大震災で、約1万5000人が死亡し、今も約2500人が行方不明のままです。大津波に襲われた宮城県石巻市の大川小=写真=では、児童70人、教職員10人の命が奪われ、児童4人の行方が分かっていません。

鈴木実穂さんと、夫の義明さんは、長男で6年生だった堅登(けんと)さんを亡くし、4年生だった長女の巴那(はな)さんを今も捜しています。重機で土を掘り起こす傍らに立ち続け、手掛かりを捜してきました。しかし、震災から12年がたった今も、巴那さん

を見つけることはできません。「もうドレスの一つも買ってあげられない」と実穂さんはつらい心の内を打ち明けます。あの日から夫婦が胸に秘めてきた心境と、巴那さんがつないでくれたに違いない、人とのつながりに迫ります。

## 宗教と子供 一時保護の検証 15日(水) = 1、3面

オウム真理教が東京・霞ヶ関駅へ向かう地下鉄の車内で猛毒のサリンを散布し、14人が死亡、6000人以上が負傷した地下鉄サリン事件は、20日で発生から28年となります。事件後、

教団施設にいた100人以上の子どもが児童相談所に一時保護されました。学校に通わず、特異な教義の下で暮らした子どもたちに児相はどう対応したのか。その経緯を検証します。



子どもたちが一時保護された児童相談所で「子どもを返して」と訴える信者たち(右) = 甲府市で1995年4月14日



マスクを着用して街を行き交う人たち = 東京・銀座で

新型コロナウイルス対策のマスク着用について、政府の方針で13日から、屋内外を問わず「個人の判断」となります。マスク無しの場面が増え、マスク無しの場面が増え、感染対策として重要であることは変わら

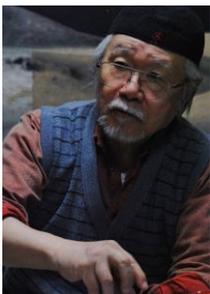
## 個人判断によるマスク着用スタート

14日(火) = 3面

りません。公共交通機関では着脱を巡って客同士でのトラブルも懸念されています。どんなルールや呼び掛けがいいのか、事業者の取り組みを紹介します。

## 特集ワイド 漫画家・松本零士さん追悼

14日(火) = 夕刊特集ワイド



漫画家の松本零士さん=写真=が2月に亡くなりました。宇宙を舞台にした「銀河鉄道999」などSF作品で知られる一方、ライフワークとして兵器を精密に描く戦争漫画を発表し続けました。

「反戦」への思いを口にした漫画界の巨匠はなぜ、「兵器」にこだわったのでしょうか。東京都練馬区の事務所兼自宅で2015年にロングインタビューした記者が、取材を基に考えました。

## 竹橋の窓辺から

編集後記



毎日新聞社などが主催する美術展「東京国立近代美術館70周年記念展 重要文化財の秘密」が今週17日(金)から5月14日(日)まで開かれます。展示作品は全て重要文化財になっており、近代美術の魅力を見ることができる内容です。もうそろそろ桜の季節。毎年、竹橋にほど近い東京国立近代美術館の周辺もたくさんのお花見客でにぎわっています。ぜひ花見に合わせ、美術展にもお越しください。(古谷亘)

